

第1章 地域別構想について

1. 地域別構想とは

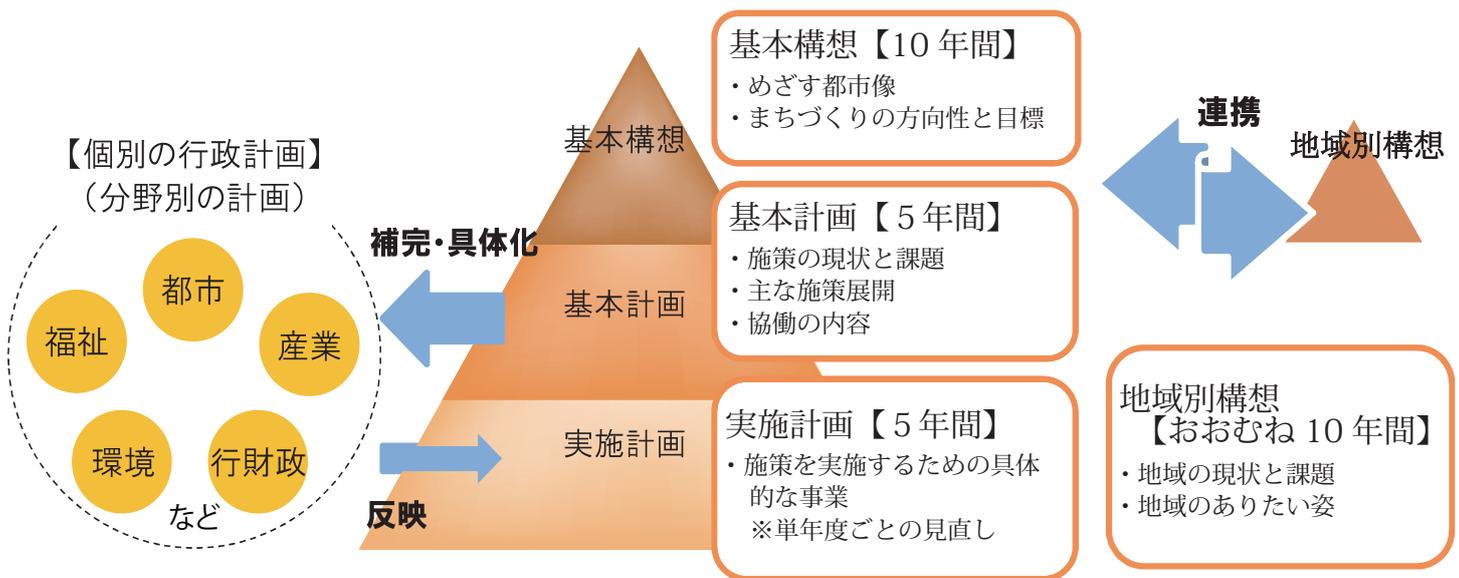
(1) 地域別構想の趣旨と位置づけ

地方自治は、国の一定地域を基礎とする地方自治体が、自主・自立的に行政を担当する権能を有するという「団体自治」と、地域住民が、地域的な生活課題を住民の意思と責任に基づき解決するという「住民自治」の二つの要素で成り立っています。

とりわけ、住民自治は、団体自治を支える基礎となるもので、その充実・強化なくして、地方自治の持続的な発展を期することはできません。

そのため、第5次川西市総合計画では、このようなまちづくりの姿を具現化する一つの方策として、新たに、地域住民自らの発意による地域のありたい姿を掲げた地域別構想を策定し、総合計画に位置づけました。

◇ 地域別構想の位置づけ ◇



(2) 地域別構想の役割

基本構想を実現するためには、これまで行政が主導して担ってきた地域の課題に対し、地域住民自らが、その解決にあたることのできる具体的な仕組みが必要となることから、一定の権限や財源を地域へ移譲する「地域分権制度」の構築を進め、市民と行政が適切な役割分担のもとで、地域の特性や多様性を尊重したまちづくりを進めます。地域別構想は、その実現に向け、地域のまちづくりの方向を示すものです。

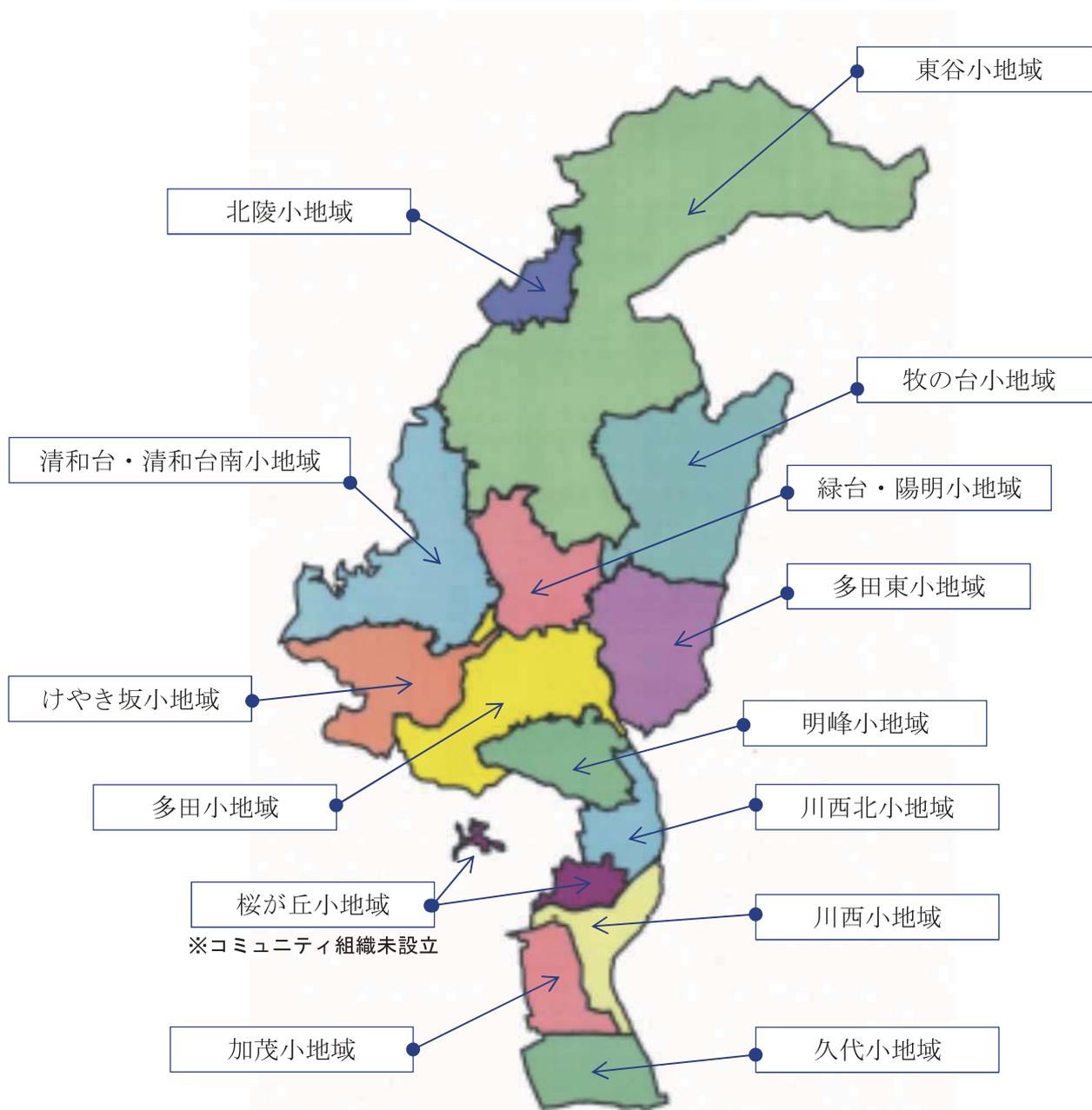
(3) 地域別構想の策定単位

本市では、昭和 50 年代からコミュニティづくりを進めており、自治会を核とした地域における様々な団体のネットワーク組織としてのコミュニティ推進（連絡）協議会が、おおむね小学校区単位で結成され、1つの小学校区を除いた 13 の地域のコミュニティ推進（連絡）協議会では、地域の特色を生かした活発な活動が展開されています。

また、コミュニティが結成されていない地域においては、地区福祉委員会などを中心として、地域の課題の解決やより良い地域づくりの実現に向けた取り組みが行われています。

このような経緯を踏まえ、地域別構想は、おおむね小学校区を基本とする、次の 14 地域を単位として策定しました。

◇ 地域別構想の策定単位 ◇



※ 地域別構想の策定単位は、基本は 1 小学校区 1 地域ですが、緑台・陽明小地域と清和台・清和台南小地域は、2 小学校区で 1 地域となっています。

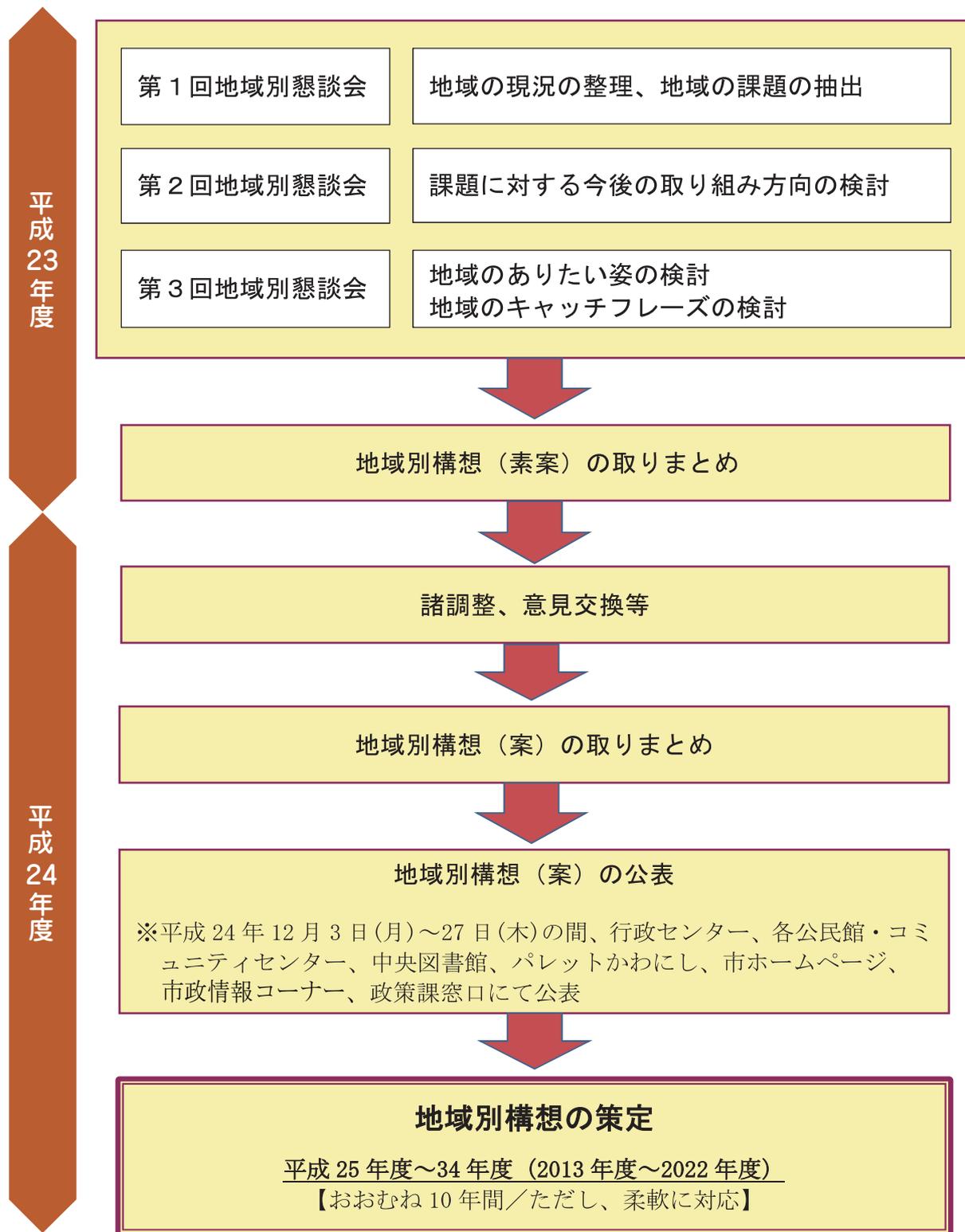
◇ 地域別構想の策定単位 ◇

	地域名	範 囲
1	久 代	久代、東久代
2	加 茂	南花屋敷、加茂1丁目～5丁目
3	川 西	小花、小戸、栄町24番～27番、寺畑、栄根、下加茂、加茂6丁目
4	桜が丘	中央町、日高町、栄町(24番～27番を除く)、花屋敷山手町、花屋敷、満願寺、満願寺町
5	川西北	美園町、絹延町、出在家町、丸の内町、滝山町(8番を除く)、鶯の森町、萩原1丁目、火打、松が丘町、霞ヶ丘
6	明 峰	滝山町8番、萩原2丁目・3丁目、萩原台東、萩原台西、鶯が丘、西多田字上平井田・湯山裏・南野山、西多田1丁目1番・2番、錦松台、鶯台、湯山台、南野坂
7	多 田	新田、矢間、矢間東町、西多田(明峰小学校区を除く)、西多田1丁目(1番・2番を除く)、西多田2丁目、多田院(清和台南小学校区を除く)、新田、多田院1丁目・2丁目、多田院多田所町、多田院西1丁目、多田院西2丁目(5番を除く)
8	多田東	東多田、平野、鼓が滝、多田桜木、平野
9	緑 台 陽 明	緑台、向陽台、水明台、清流台
10	清和台 清和台南	石道、虫生、赤松、清和台東、清和台西、柳谷、多田院字滝ヶ原・駒塚・井戸ヶ上、多田院西2丁目5番
11	けやき坂	芋生、若宮、けやき坂
12	東 谷	見野、東畦野、東畦野山手、西畦野、長尾町、山原、緑が丘、山下町、笹部、下財町、一庫、国崎、黒川、横路
13	牧の台	大和東、大和西、東畦野字長尾
14	北 陵	美山台、丸山台

※ 地域別構想の策定単位は、小学校区及びコミュニティの区域と合致するものではありません。
 ※ 加茂6丁目は、加茂小学校区ですが、策定単位は川西小地域になります。
 ※ 長尾町は牧の台小学校区、国崎・黒川・横路は黒川小学校区ですが、策定単位は東谷小地区となります。

(4) 地域別構想の策定経緯

地域別構想は、おおむね小学校区ごとに地域別懇談会を開催し、「地域の課題」「今後の取り組み方向」「地域のありたい姿」「地域のキャッチフレーズ」をワークショップ*形式で検討した結果をもとに、取りまとめたものです。



2. 地域別構想の見方

地域別構想は、おおむね小学校区ごとに、以下のように構成しています。

地域のキャッチフレーズです。

Kushiro
久代小地域



キャッチフレーズ
笑顔と輪でつなぐ、心豊かないちじくのみち “久代”

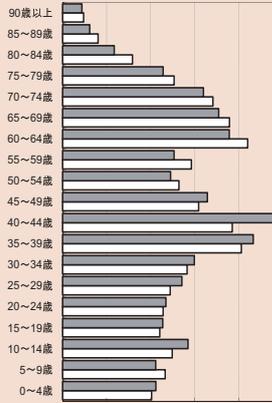
現状 1 地域の現況と人口推計

(1) 位置と地勢
市の最も南部に位置する久代小地域は、伊丹市、宝塚市、猪名川を挟んで池田市と隣接しています。南北には、県道尼崎池田線と JR 福知山線が、東西には中国縦貫自動車道が通っています。都市近郊農業が営まれ、川西名産のいちじくの主要な産地でもあります。地域内には、自衛隊阪神病院などの自衛隊施設や県立西猪名公園があります。



(2) 人口と世帯
人口は、平成 17 年の 9,236 人から平成 22 年の 8,826 人まで 5 年間で 4.4%減少しました（全市では、0.1%増加しています）。
年齢別人口割合は、40～44 歳が最も多く、続いて 35～39 歳が多くなっています。【左下図】
世帯数は、平成 18 年が 3,851 世帯で、平成 23 年は 3,850 世帯と横ばい傾向にあります。（全市では 6%増加しています）
地域の将来人口を推計すると、10 年後の平成 34 年にはおおむね 8,500 人となり、4%ほど少なくなる可能性があります。【右下図】

人口構成



将来人口推計



年	久代小地域 (%)	市全体 (%)
H22	100.0%	100.0%
H25	99.5%	99.9%
H29	98.4%	99.0%
H34	96.0%	96.3%

人口全体を母数とする割合で表示
上段：久代小地域 下段：市全体
(H23 住民基本台帳)

地域がめざす将来の地域像です。

めざす地域像

久代小地域は、大阪都心に近く、JR 福知山線で直結される利便性の高い地域です。さらに、春日神社をはじめとする歴史遺産の数々、都市と自然が織りなす景色の眺望ポイント、いちじくや軟弱野菜*の産地など、様々な特色を併せ持つ魅力あふれる地域です。

また、コミュニティ意識の高さをエネルギー源として、元気な人たちの活発な活動が見られます。

今後も、地域の輪と地域資源を大切にしながら、地域愛にあふれたまちを育んでいきます。

「*」マークのある用語には 70 ページに用語解説があります。

地域の現況（位置や地勢、人口や世帯数）と将来人口（推計値）です。

※地域の将来人口は、基本構想の人口推計と同じ方法で、コーホート要因法による封鎖型推計に現時点で把握できる住宅開発による人口増を加味して求め、基本構想の推計結果と一致させています。

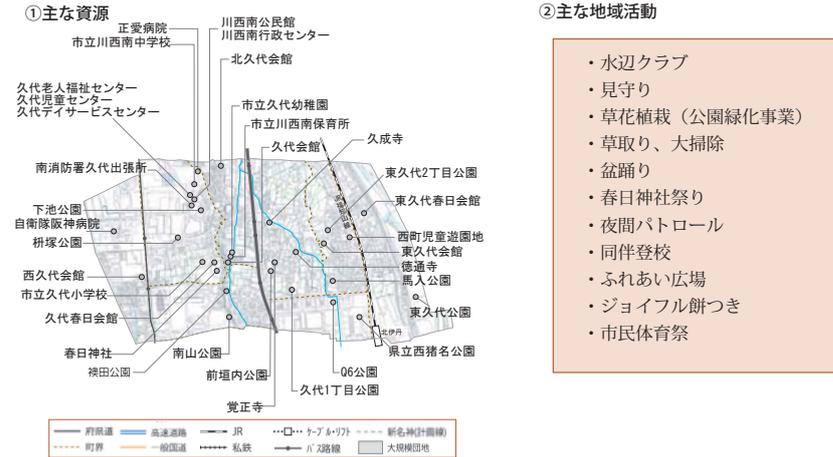
※「コーホート要因法」とは、同年に出生した集団（コーホート）ごとに、その集団の一定期間における出生率や生残率、純移動率（転入割合から転出割合を引いた値）などの人口変動割合、将来の仮定値を設定し、集団ごとの将来人口を推計する手法です。

※世帯数については、より実態に即したものとするため、直近の平成 18 年と 23 年の数値を記述しています。

平成 23 年度時点の地域の主な資源や地域活動を紹介しています。
 ※暮らしに身近な地域資源等の配置を示すものであり、縮尺や距離は正確なものではありません。

現状 2 地域の主な資源・地域活動と意識

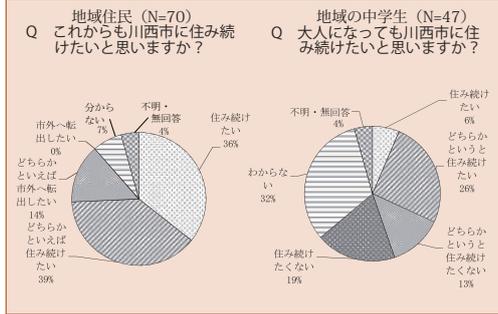
(1) 地域の主な資源・地域活動



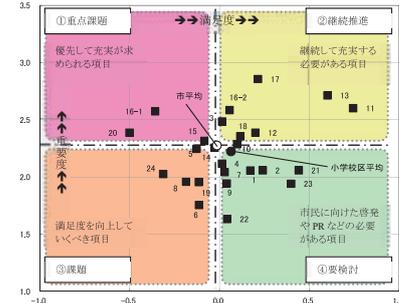
(2) 市民意識調査 (久代小地域集計)

① 定住意向
 「住み続けたい」「どちらかといえば住み続けたい」と答えた地域住民は、75%となっています。一方で、中学生では、32%となりました。

② 施策の重要度・満足度
 重点課題として、「交通施設の整備」や「労働環境の向上」が挙げられています。また、継続推進すべきこととして「防災力の向上」や「上水道の安定供給」などが挙げられています。



①重点課題	②継続推進
15.市街地整備	3.高齢者の支援
16-1.交通施設の整備	10.環境の保全
20.労働環境の向上	11.省資源・リサイクル
	12.公園・みどりの整備
	13.上水道の安定供給
	16-2.公共交通の利便性向上
	17.防災力の向上
	18.生活安全の推進
③課題	④要検討
5.子育て支援	1.健康づくりの支援
6.低所得者福祉	2.地域福祉の推進
8.青少年の育成	4.障がい者の支援
14.都市計画の推進	7.学校教育環境の整備
19.産業の振興	9.生涯学習・文化の振興
24.効率的な行政の運営	21.観光の振興
	22.共感・共生のまちづくり
	23.参画と協働のまちづくりの推進



平成 22 年度に実施した「市民意識調査」における、地域での定住意向、施策の重要度・満足度について、地域別に集計した結果を掲載しています。

地域の課題とありたい姿を、基本構想におけるライフテーマごとに整理し示しています。

kashira 久代小地域

地域の課題とありたい姿 地域別懇談会で議論された主な内容

地域別懇談会のワークショップで議論された意見をもとに、久代小地域のありたい姿と課題を生活のテーマ（第5次総合計画における「暮らし」「安全安心」「生きがい」「つながり」の4つ）に整理・集約すると、次のようになります。

暮らし

◆…主な課題…◆

- ・地域の産業である近郊農業の活性化が求められている
- ・道路が狭く、見通しの悪い交差点があるなど道路を整備する必要がある
- ・地域で使えるグラウンドや体育館が少ないため、整備が必要である
- ・公園が不足しているため、整備が必要である

◆…地域のありたい姿…◆

- ・いちじくの生産など農業が続けられるなど、自然を利用した産業で雇用を増やせるまちにしたい
- ・交通の便利さと住環境の快適さが両立した、若い人も住みたくなるまちにしたい

安全安心

◆…主な課題…◆

- ・日常の買い物や医療など、ひとり暮らしの高齢者の暮らしを支援する必要がある
- ・野良猫の餌付けや野焼き、路上駐車など環境衛生上の問題への対策が必要である
- ・自然豊かな春日の森や、小鳥がさえずる猪名川の流れなど、今の空間と自然を大切にしていきたい
- ・航空機騒音問題に対処する必要がある

◆…地域のありたい姿…◆

- ・弱者へのいたわりの心を持ち、世代間のあいさつや交流を通してひとりぼっちにならないまちにしたい
- ・自分の家の前をきれいにすることや、自治会でマナーへの意識啓発を行うなど自然を大切に暮らせるまちにしたい
- ・航空機騒音のない静かなまちにしたい

生きがい

◆…主な課題…◆

- ・子どもの遊び場や医療施設など、子育て環境の充実が必要である
- ・地域の歴史を学び継承する取り組みを生かしていく必要がある

◆…地域のありたい姿…◆

- ・子どもたちを地域の人たちの目で見ると、子育てのしやすい環境のあるまちにしたい
- ・風土を知り、先人の知恵を学び地域に誇りを持てるまちにしたい
- ・地域住民とともに伝統文化を守り伝えるまちにしたい

地域の課題とありたい姿を、ライフテーマごとに整理し示しています。

川西市地域別構想 平成 25 (2013) 年度～ 34 (2022) 年度

つながり

◆…主な課題…◆

- ・地域活動への参加者や自治会会員が減少していることへの対応が必要である
- ・市と地域の協力体制が不足している

◆…地域のありたい姿…◆

- ・世代間交流を増やすなど子ども会や自治会などが充実し、地域をもっと皆で理解しあい、助けあうまちにしたい
- ・気軽に地域の方とあいさつができるまちにしたい
- ・がんばっている地域に対するフォローの仕組みがあるまちにしたい

地域のありたい姿を実現するために、地域が主体となって取り組む内容を、ライフテーマごとに整理し示しています。

地域のありたい姿を実現するための取り組み 地域別懇談会で検討された主な内容

地域別懇談会のワークショップで議論された、久代小地域のありたい姿を実現するための地域の取り組み内容を整理すると、次のようになります。

暮らし

- ・コンビニ、スーパーの誘致
- ・いちじく栽培を実体験したい人を募集して生産組合の役員で検討する

安全安心

- ・高齢者の集いの場づくり
- ・ポイ捨てのないまちづくり
- ・自分が住んでいる家の周りからの美化活動

生きがい

- ・子どもたちを地域の人たちの目で見ると
- ・子どもの才能を発表する場と応援する場の検討

つながり

- ・地域みんなでの助け合い（高齢者による子育て支援、若者層による高齢者支援）
- ・地域で積極的にあいさつをする
- ・自治会、老人会、子ども会の交流（若者と老人の交流の場）
- ・様々な年代で、地域別懇談会を複数開催する

市の主な関連する施策（参考）

- ・施策 2 道路や橋りょうの安全性・機能性を高めます
- ・施策 4 公園を利用しやすくします
- ・施策 8 総合的な交通環境の向上を図ります
- ・施策 11 商工業を振興します
- ・施策 13 農業を振興します
- ・施策 16 文化・スポーツを通して、市民が輝く環境づくりを進めます
- ・施策 20 地域福祉活動の支援と促進を図ります
- ・施策 21 高齢者に必要なサービスを提供するとともに、要介護状態を予防・改善します
- ・施策 28 豊かな自然環境を次世代へ継承します
- ・施策 29 快適な生活環境を守ります
- ・施策 31 子どもの健やかな育ちを実現します
- ・施策 32 明るく楽しい子育てを支援します
- ・施策 40 ふるさと川西の文化遺産を保存・継承・活用します
- ・施策 44 市民公益活動の発展に向けた取り組みを支援します

地域のありたい姿の実現に関連する市の主な施策を示しています。

